令和９年度（2027 年度）
名古屋市立大学大学院医学系研究科
博士前期課程（看護学専攻）学生募集要項

名古屋市立大学大学院アドミッション・ポリシー

名古屋市立大学は、「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学をめざす」ことを大学の基本的理念として掲げ、大学院教育では、大学院生への研究指導は研究活動の活性化の一環であるとの認識に基づき、高度な専門性と学際的視点を備えた研究者及び職業人を育成することを目標としている。

本大学院では、これらの理念や目標のもとに、基本的な専門知識と技術を持ち、高度な専門性と国内外で活躍する意欲と適性を備えた、多様な能力や経歴を有する人材を広く求めている。

医学系研究科博士前期課程（看護学専攻）アドミッション・ポリシー

○ 求める学生像

・豊かな人間性、柔軟な姿勢、ニーズを汲み取る感性、高い倫理観を持ちあわせている人
・高度な看護実践能力をもって人々の健康生活支援に関わることにやりがいと使命を感じている人
・大学院で修得したことを基盤に、実践の場で問題を適切に解決していくリーダー的存在となる意志のある人
・身に付けた幅広い知識や分析力をもとに、多職種と連携し、チーム医療を推進する意志のある人
・看護学の教育者・研究者・高度実践家をめざすために、十分な教育研究力を身につけようとする意欲にあふれる人
・研究を遂行し、実践を探求するための自律性および向学の志が高い人

○ 修得しておくべき知識の内容・水準

・看護学をより深く学ぶために必要な学士課程卒業レベルの専門知識
・共感的、援助的コミュニケーション能力
・研究に関する基礎的知識
・論文作成に必要な基礎的語学力並びに英語読解力

１　募集人員

看護学専攻　24 名（看護学領域　16 名、助産学領域　８名）

２　出願資格

次のいずれかに該当する者

(1)　大学を卒業した者又は令和９年３月卒業見込みの者
(2)　学校教育法第 104 条第４項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者、又は令和９年３月までに授与見込みの者
(3)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は令和９年３月までに修了見込みの者
(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は令和９年３月までに修了見込みの者
(5)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了し

たとされるものに限る）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において、位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は令和９年３月までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの、又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は令和９年３月までに授与見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は令和９年３月までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学医学系研究科（看護学専攻）において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

(10) 本学医学系研究科（看護学専攻）において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月 31 日までに 22 歳に達する者

３　資格審査（出願資格(9)(10)で出願しようとする者は資格審査を受けること。）

(1) 資格審査申請期間

一次募集	令和８年９月 18 日（金）～９月 29 日（火）〔必着〕
二次募集	令和９年１月７日（木）～１月 12 日（火）〔必着〕

※二次募集は、一次募集の入学手続き者が入学定員に満たない場合のみ実施します。

※一次募集の資格審査にて、出願資格認定を受けた場合は、二次募集での出願資格審査の免除が可能です。出願時に「受験資格有」と認定された個別資格審査結果通知書（コピー可）を同封してください。

(2) 申請書類（書類の作成は、５ 出願書類等に準じること。）

①資格審査願
②履歴書
③業績書
①～③は本学所定用紙を使用
④最終学歴※の学校長が作成した卒業証明書及び成績証明書

※本学所定用紙様式は、下記 URL からダウンロードすることが可能です。手書きの必要はありません。
本学ウェブサイト　https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/nurse/

※看護師、保健師又は助産師の免許を有する者にあっては、その免許を取得するために卒業したすべての養成所等の卒業証明書及び成績証明書もあわせて提出してください。

※卒業証明書、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

(3) 資格審査に必要な提出書類の郵送方法及び郵送先

・封筒の表に「医学系研究科博士前期課程（看護学専攻）資格審査書類在中」と朱書きし、上記(2)の申請書類を７ページに記載の郵送先に必ず**書留速達**で郵送してください。**（消印有効ではありません。）**申請は郵送に限ります。窓口受付は行いません。

・国外から申請する場合は、必ず日本国内在住の代理人が申請手続きを行ってください。この場合、本学からの通知も代理人あてに行います。（外国からの郵送による申請は受け付けません。）

(4) 審査結果

審査後、速やかに通知します。

4　出願手続

(1) 出願期日

一次募集	令和８年 10 月 27 日（火）～11 月２日（月）〔必着〕
二次募集	令和９年１月 22 日（金）～１月 28 日（木）〔必着〕

※二次募集は、一次募集の入学手続き者が入学定員に満たない場合のみ実施します。

(2) 出願方法

・角形２号封筒（ご自身でご用意下さい）に出願書類等を入れ、必要事項を記入した封筒の表紙〔本学所定用紙〕を封筒に貼り付け、７ページに記載の郵送先に必ず**書留速達**で郵送してください。出願は郵送に限ります。窓口受付は行いません。
・期限までに到着しなかった場合は受理しません。**（消印有効ではありません。）**
・国外から出願する場合は、必ず日本国内在住の代理人が出願手続きを行ってください。この場合、本学からの通知も代理人あてに行います。(外国からの郵送による出願は受け付けませんので注意してください。)
・外国の高等教育機関で発行された卒業証明書等で、再発行ができないものについては、コピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続きの際に原本を確認するので、必ず原本を持参してください。
・出願書類を受理したときは、受験票、受験案内を送付します。
・一次募集については、令和８年 11 月 20 日（金）、二次募集については令和９年２月５日（金）を過ぎても届かない場合は、〔学生課 医学系研究科（看護学専攻）入試担当〕にお問い合わせください。

(3) 出願上の注意（事前面談の実施）

・受験を希望するすべての者は、出願書類提出前に指導を希望する教員と連絡をとり、研究内容等について十分に話し合ってください。教員の連絡先は、８ページ以降の教育研究分野・担当教員一覧を参照。
・指導を希望する教員については、入学後に変更となる可能性があります。
・希望指導教員名の未記入および事前面談の未実施は、書類不備となり受け付けられません。（ただし、助産学領域助産師国家試験受験資格取得コースは、希望指導教員名記入不要）

5　出願書類等

書類等		摘要
①	入学願書 写真票 受験票	**〔本学所定用紙使用〕** ・写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦４㎝×横３ ㎝、出願前３か月以内に撮影したものを貼り付けしてください。 ・受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。
②	履歴書	**〔本学所定用紙使用〕** ・学歴は、高校卒業から記入してください。 ・職歴があれば記入してください。 ・看護師、保健師又は助産師免許を所持する場合は、その免許登録番号を記入してください。 ・出願資格(３)～(７)又は(９)により出願する者は、初等教育（小学校相当）から高等教育（大学相当）まで、修了した学校教育をすべて記入してください。

③	卒業証明書 (卒業見込証明書)	・在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 ・出願資格(２)又は(８)により出願する者は、資格を証明する書類を提出してください。 ・出願資格(３)～(７)により出願する者は、修了した高等教育機関(大学相当)の卒業証明書を提出してください。コピーは認めません。ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合は、原本を送らないでください。合格者には入学手続きの際に原本を持参していただきます。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。
④	成績証明書	・在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 ・出願資格(３)～(７)又は(９)により出願する者は、修了した高等教育機関(大学相当)の成績証明書を提出してください。コピーは認めません。ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合は、原本を送らないでください。合格者には入学手続きの際に原本を持参していただきます。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。
⑤	学修計画書	**〔本学所定用紙使用〕**
⑥	ＴＯＥＩＣ® Ｌ＆Ｒ 公開テストの成績	・Official Score Certificate（公式認定証）（コピー不可） ・令和６年４月以降に受験したものを有効とします。 ・TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ可とします。 ・日本国内で実施の TOEIC Listening & Reading 公開テスト成績を提出される場合は、原則、デジタル公式認定証の写しを提出してください。その際、デジタル公式認定証の写しの裏面にデジタル公式認定証 URL も記載ください。なお、韓国 TOEIC のウェブサイトからダウンロードし印刷された成績表は不可とします。 ※出願までにデジタル公式認定証および公式認定証の提出が間に合わない場合には、デジタル公式認定証の写しに限り試験当日の提出を認めます。試験当日にデジタル公式認定証の写しを提出する場合には、出願時に「TOEIC® Listening& Reading Test スコア未提出理由書」〔本学所定用紙〕を提出してください。また、当日持参するデジタル公式認定証の写しの裏面にデジタル公式認定証 URL も記載ください。
⑦	住民票 (外国籍の者のみ)	・外国籍の者で在留資格がある者は提出してください。 ・在留資格が短期の者は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。 ・国外在住者が出願する場合は、パスポートの写しを提出してください。 ・個人番号（マイナンバー）が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。
⑧	入学検定料等 (30,410円)	・振込依頼書（本学所定のもの）を使用し、必要事項を記入のうえ、30,410円（入学検定料30,000円＋受験票等送付のための速達郵便料金410円）を添えて銀行などで振り込んでください。ゆうちょ銀行では取り扱いません。また、ATM等は使わず、必ず窓口で振り込んでください。 ・振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ・銀行などから受け取った「検定料納付証明書（B票）」を、他の出願書類と一緒に提出してください。「振込金（兼手数料）受領書（A票）」は、入学志願者が保管してください。

⑨	あて名用シール	**〔本学所定用紙使用〕** 返信先を明記してください。受験票等の送付及び合否の通知に使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。
⑩	出願書類提出用 封　筒　表　紙	**〔本学所定用紙使用〕** 必要事項を記入し、ご自身で用意した市販の角形2号封筒に貼り付け、出願書類を封入の上、学生課宛て郵送してください。

注1)　資格審査を申請した者は、出願時に②、③及び④の再提出は不要です。

注2)　本学所定用紙様式は、下記URLからダウンロードすることが可能です。手書きの必要はありません。
本学ウェブサイト　https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/nurse/

注3)　卒業証明書、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

注4)　在職のまま就学を希望する者は、受験承認書や就学承認書は必要としませんが、勤務先とのトラブルが生じないように十分配慮してください。

注5)　原則、既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合には、納入された入学検定料を返還します。詳細は、本学ウェブサイトで確認してください。
・二重に振込んだ場合
・入学検定料等を振込んだが、出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む）

注6)　提出された出願書類は返却しません。

６　障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前までに必ず〔学生課医学系研究科（看護学専攻）入試担当〕まで申し出てください。

７　入学者選抜期日及び方法

(1) 期日、時間、科目等

試　験　期　日	試験時間	試験時間及び試験方法
［一次募集］ 令和　8年12 月　5日（土） ［二次募集］ 令和　9年　2月 13 日（土）	９：00～10：00	筆記試験（共通科目：研究に関する基礎的な知識を問うもの） TOEIC® L&R 公開テストの公式スコアを 50 点分に換算し、筆記試験 50 点分と合わせて合計 100 点とする。
	筆記試験終了後	面接　60 点 提出した学修計画書をもとに行います。

(2) 試験会場及び集合時間

桜山キャンパス看護学部棟（名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地）
※受験票とともに、集合時間等を記載した受験案内をお送りします。

(3) 選抜方法

筆記試験、学修計画書、英語スコア、面接、成績証明書を総合して行います。

８　合格発表

一次募集	令和 ８年 12月 16日 （水）
二次募集	令和 ９年 ２月 24日 （水）

合否結果は、一次募集は令和８年 12 月 16 日に、二次募集は令和９年２月 24 日に郵送にて発送します。一次募集は 12 月 21 日（月）までに、二次募集は３月１日（月）までに結果が届かない場合は〔学生課医学系研究科（看護学専攻）入試担当〕までお問い合わせください。
※　学内掲示及び Web 掲載による発表は行いません。

９　入学手続

(1) 手続期日（予定）

一次募集	令和８年　12月　下旬
二次募集	令和９年　３月　中旬

(2) 手続方法

合格通知とあわせて、速やかに詳細を本人又は代理人あてにお知らせします。

(3) 入学手続時に必要な経費

ア　入学料　　名古屋市住民等　　232,000円
　　その他の者　　332,000円
イ　学生教育研究災害傷害保険料（現行）　　1,750円

注 1）上記は、令和８年度入学者の金額であり、令和９年度については改めてお知らせします。
注 2）名古屋市住民等とは、①入学者又は②入学者の配偶者若しくは１親等の親族が入学の日（４月１日）において、同日の前から引き続き１年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。
注 3）入学料等は、入学手続時までに金融機関で納入してください。既納の納付金は返還しません。

10　授業料

年額　535,800円（前期・後期分　各267,900円）
注 1）授業料は、入学後、年２回（前期・後期）に分けて納めてください（口座引落）。
注 2）授業料は、令和８年度入学者の金額であり、令和９年度については改めてお知らせします。
　　また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を適用します。
注 3）実習費などの諸経費が別途必要になります。

11　授業料の減免制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる場合には審査の上、授業料の全額または半額、もしくは４分の１の額が免除されます。詳しくは、事務局　教育研究部学生課（学生支援）へお問い合わせください。

12　長期履修制度

・職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができる制度です。

・博士前期課程の標準修業年限は２年ですが、長期履修学生の在学期間は３年となります。
・授業料は、標準修業年限期間の授業料総額を決定された履修期間で按分した額とします（年額）。
・助産学領域の上級実践コース(助産師国家試験受験資格取得コース)には、長期履修制度は適用されません。
・この制度に関するお問い合わせは、医学部事務課大学院医学系研究科（看護学専攻）担当まで
お願いします。

13　奨学金制度

日本学生支援機構において、大学院学生に対する貸与制度があります。希望者については、本学において学業成績及び研究能力等を審査のうえ推薦手続をとります。詳しくは、学生課（学生支援）へお問い合わせください。

14　個人情報の取り扱い

個人情報については、「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 個人情報の利用

ア　出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。

イ　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）

ウ　入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、就学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者に委託することがあります。

15　注意事項

・出願書類等が不備の場合は受理しません。
・出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
・出願書類等は返還しません。
・受信場所を変更した場合は、直ちに〔学生課 医学系研究科(看護学専攻)入試担当〕に連絡してください。
・二重学籍は認められません。
・悪天候や災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容から変更する必要が生じた場合には、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。また、受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、入学願書や資格審査願には、必ず連絡のとれる連絡先を書いてください。

〇敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、
この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

〇資格審査申請書類、出願書類郵送先、出願、入学等に関する照会先

〒467-8601　名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄１番地
名古屋市立大学　事務局　教育研究部　学生課 医学系研究科（看護学専攻）入試担当
電話番号　052-853-8020
E-mail　shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

〇授業料免除制度、奨学金に関する照会先

〒467-8501　名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1
名古屋市立大学　事務局　教育研究部　学生課（学生支援）
電話番号　052-872-5042

○研究内容、資格審査、長期履修制度、過去問題に関する照会先

〒467-8501　名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
名古屋市立大学　医学部事務課　大学院医学系研究科（看護学専攻）担当
電話番号　052-853-8545
E-mail　nursjimu@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL　https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/

大学院医学系研究科博士前期課程（看護学専攻）　教育研究分野・指導教員一覧

＜看護学領域＞

※各教員連絡先メールアドレスの後には@med.nagoya-cu.ac.jpをつけてください。

指導教員	連絡先	研究キーワード
性生殖看護学		
脇本　寛子　教授	wakimoto	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ　母子感染予防 周産期の感染管理　感染症妊産褥婦へのケア　助産管理
佐藤　剛　教授	og.sato	生殖補助医療（ART）胚発生　着床前遺伝学的検査（PGT）　生殖遺伝学・ゲノミクス　妊孕性温存
保田　ひとみ　准教授	boda.hi	夫婦　親子　家族　育児　周産期のケア
鈴木　幸子　准教授	suzuki.s	妊産婦とその家族のケア　子育て支援　ウィメンズヘルス
成育保健看護学		
山邉　素子　教授	sakura33	小児看護全般　技術　がん看護　小児看護管理　外来
大橋　麗子　准教授	reiko	医療的ケア　障害　保育　学校　虐待
遠藤　晋作　准教授	s-endo	病気説明　自己概念 子ども 先天性心疾患　SCAT
クリティカルケア看護学（修士論文コース）		
嶌田　理佳　教授	rshimada	クリティカルケア看護　病院前救護　意思決定支援　災害看護 急性期リハビリテーション
クリティカルケア看護学（専門看護師教育コース）		
嶌田　理佳　教授	rshimada	**コース紹介** 生命を支える高度実践看護を基盤に、演習や実習、ゼミでの議論を通して CNSの6つの役割（実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究）を統合的に修得します。また、課題研究をとおして、臨床で抱いた疑問や関心を学問的な「問い」として捉え直し、根拠に基づいて探究するプロセスを学びます。こうした学びを通して、研究成果を臨床実践の質の向上につなげる力を養います。
周手術期看護学		
長谷川　智之　准教授	hasetomo	周手術期看護、周麻酔期看護、看護人間工学、看護技術、 看護用具
上級実践コース 周麻酔期看護師教育コース		
長谷川　智之　准教授	hasetomo	**コース紹介** 看護学を基盤として、麻酔に必要な解剖学、生理学、薬理学、麻酔・手術侵襲に対する管理と合併症予防、臨床推論、医療安全などの専門的知識と技術、患者の全身管理方法を学修し、麻酔に関わる包括的ケアの実践能力を修得する。

慢性看護学		
安東　由佳子　教授	yukakoa	セルフケア/セルフマネジメント　意思決定　緩和ケア 症状マネジメント　慢性疾患
高齢者看護学		
平田　弘美　教授	hirata	認知症ケア、BPSD、攻撃的行動、職業性ストレス、バーンアウト
小山　晶子　准教授	a-koyama	服薬アドヒアランス　服薬自己管理　認知症　地域医療 老年看護学
先端医療看護学		
窪田　泰江　教授	yasuekbt	排尿管理　排泄ケア　尿失禁　膀胱機能　フェムテック
加古　英介　教授	ekako	高度実践看護　量的研究　循環・呼吸管理　疼痛管理　急性疾患
看護マネジメント学		
樅野　香苗　教授	momino	がん患者に対する心理的ケア・看護ケア　看護師に対する心理的介入　看護管理者の人材育成　看護教育
宮内　義明　准教授	y-miya	基礎看護技術　看護情報　医療情報　医用工学　人間情報工学
秋山　直美　准教授	nakiyama	看護管理　医療安全管理　災害医療管理　人的資源管理 防災・減災
感染予防看護学		
岡山　加奈　教授	okayama	医療関連感染予防とケア　感染症看護　排便コントロール 腸内環境
安岡　砂織　准教授	syasuoka	医療関連感染と看護ケア　感染管理　感染看護　災害と感染予防
精神保健看護学(修士論文コース)		
香月　富士日　教授	katsuki	精神看護　家族ケア　リカバリー支援　看護職のメンタルヘルス
谷向　仁　教授	tanimuki	精神医学　リエゾン（CLP）・緩和ケア　認知機能 チーム医療　メンタルヘルス
桐山　啓一郎　准教授	kiriyama	精神障害者の希望に基づく支援、一般病棟の身体拘束最小化、看護師のメンタルヘルス、看護倫理
精神保健看護学（専門看護師教育コース）		
香月　富士日　教授 谷向　仁　教授 桐山　啓一郎　准教授	katsuki tanimuki kiriyama	**コースの紹介** 地域精神看護とリエゾン精神看護を志望する精神看護専門看護師を育成しています。精神医学を背景に対象者の心理面、脳機能のアセスメントや、コンサルテーションを丁寧に学びます。
在宅看護学		
秋山　明子　教授	akiyama	健康増進　予防　地域包括ケアシステム　エンパワメント 地域資源
井上　高博　准教授	t-inoue	介護予防　へき地・離島　社会疫学　ソーシャル・キャピタル アドバンス・ケア・プランニング
地域保健看護学		
門間　晶子　教授	akado	子育て支援　子育て困難　子ども虐待予防　公衆衛生看護学 オープンダイアローグ
尾﨑　伊都子　准教授	itsuko	地域保健　職域保健　生活習慣病予防　健康教育　保健指導
国際保健看護学		
樋口　倫代　教授	michiyoh	公衆衛生　グローバルヘルス　社会疫学　アクセス　移民の健康
金子　典代　教授	noriyok	LGBTQIA＋　HIV感染症　セクシュアルヘルス　子宮頸がん検診 移民
江　啓発　准教授	keihatsu	疫学・統計学　生活習慣病　メンタルヘルス　太平洋島嶼地域 グローバルヘルス
地域連携システム看護学		
久保田　正和　教授	mkubota	認知症　地域連携　高齢者　訪問看護　ICT
看護情報学		
鏡　裕行　教授	kagami	数理モデル　看護理工学　看護情報学　温泉の効能　アプリ開発

注１） 看護学領域の専門看護師教育コースもしくは上級実践コース 周麻酔期看護師教育コースを志望する者は、看護師免許を有すること。

注２）この一覧は、令和８年９月１日現在に所属する専任教員が担当する研究キーワード等を紹介したものであり、今後変更される可能性があります。

大学院医学系研究科博士前期課程（看護学専攻）　教育研究分野・担当教員一覧

＜助産学領域＞

※各教員連絡先メールアドレスの後には@med.nagoya-cu.ac.jpをつけてください。

<table>
<tr><th>指導教員</th><th colspan="2">コースの紹介</th></tr>
<tr><td rowspan="3">脇本　寛子　教授
e-mail: wakimoto

佐藤　剛　教授
e-mail: og.sato

保田　ひとみ　准教授
e-mail: boda.hi

鈴木　幸子　准教授
e-mail: suzuki.s</td><td colspan="2">修士論文コース
助産学領域における女性とその家族、母子の健康維持や健康を阻害する問題に関わる臨床疑問や臨地的な課題の中から取り組む研究課題を明確にします。その研究課題に対し、適切な研究手法を用いて助産学的視点から探究し、修士論文を作成します。助産師免許（取得見込み含む）を有することが必要です。将来的に研究者・教育者を目指している方は、アドバンスコースより修士論文コースを勧めます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">上級実践コース</td><td>【アドバンスコース】
助産師免許（取得見込み含む）を有する者がスキルアップを行い、より高度な助産実践能力を修得できるようリカレント教育を行います。2 年前期に実習 2 科目・実習計画に必要な演習を履修し、課題研究に取り組むところが修士論文コースとの主な違いです。助産学特論・演習・実習を通して研究課題を明確にし、研究の一連のプロセスを通して助産ケアに貢献しうる知見を課題研究成果物としてまとめます。臨地での活躍が期待されます。</td></tr>
<tr><td>【助産師国家試験受験資格取得コース】
基礎助産学の習得、周産期ケアや女性の健康支援について学修を深めることにより、研究的素養と高度な助産実践能力を将来発揮できる助産師の育成を目指しています。看護師免許（看護師国家試験受験資格）を有することが必要です。修了要件には、助産師国家試験受験資格取得に必要な 33 単 位の習得が含まれます。国家試験受験資格取得に必要な実習 11 単位を 1 年 後期に、2 年前期に上級実践コースの実習 2 科目を行います。講義・演 習・実習を通して研究課題を明確にし、助産ケアに貢献しうる知見を課題 研究成果物としてまとめます。</td></tr>
</table>

注１）助産学領域上級実践コース（助産師国家試験受験資格取得コース）は、入学後に担当教員が決まります。

注２）助産学領域の修士論文コースもしくは上級実践コース（アドバンスコース）を志望する者は、助産師免許（令和９年３月 31 日までに取得見込みを含む）を有すること。

注３）助産学領域の上級実践コース（助産師国家試験受験資格取得コース）を志望する者は、看護師免許（令和９年３月 31 日までに取得見込みを含む）を有すること。

注４）この一覧は、令和８年４月１日現在に所属する専任教員がコースを紹介したものであり、今後変更される可能性があります。